

# 大敗、崖っぷちに立たされる駒大



まさかの大敗に落胆するイレブン (撮影：河田奈津子)

## 駒澤大学 2-5 中央大学

### 迷走する駒大

昨年、「夏」を制した王者駒沢大学。今年、「夏」の栄光を寸前で逃した勇者中央大学。日本に名を轟かす両雄は、これまでのリーグ戦において低迷が続き、そのリーグ戦も今回の試合で折り返しを迎える。彷徨える王と勇者のインカレへの挑戦権はすでに荊で蔽われてしまい、この試合が最後の分かれ道になる。希望を求めて荊の道を切り開くのは、王者なのか、勇者なのか。その答えを求めて選手達は芝を駆ける。

勇者の剣は、序盤から王に突き立てられる。中大は、縦への速いパスや9番林を起点とした鮮やかなショートパスで駒沢サイドを切り刻み、何度となくゴールに迫る。王を切り刻み、心臓を抉り出そうとする勇者の姿は、駒沢の敗北を予言した。しかしそんな中、助けを求めるようにクリアボールが前線へ飛び出した。それを山本がヘディングで右サイドを駆け上がる湯澤につなぐと、湯澤はそのままゴールめがけて右足を振った。渾身のボレーシュートは、キーパーに弾かれたが、この時確かに救いの手は差し伸べられた。実際、このシュートを機に前線からのプレスが機能し、駒大の攻撃回数は増えていく。そして、ついに王による支配の時が訪れた。12分、中大の攻撃をしのぎ、左サイドへ運ばれたボールを湯澤が受け、そのまま中央ペナルティエリア付近までドリブルで切り込むと、ゴール右上隅へ狙い澄ました先制弾を叩き込んだ。

その後も、高い位置からのプレスでボールを奪い、前線から積極的に攻めていく。迎えた後半でも、流れは変わらず、再び湯澤が得点シーンを演出した。48分、湯澤は相手サイド中盤で、ボールを受けると、ゴール前へクロスを上げた。ゴール前では相手DFやキーパーとの混戦になったが、碓井がきっちりヘディングで合わせて追加点を奪う。57分に濱田を下げ、前回の試合でも活躍を見せた肝付を投入、さらなる追加点を狙う。しかし、序盤からつづく激しいプレスは選手たちの体力を奪い、王者による支配に綻びが生まれた。59分左サイドを崩されゴールを奪われると、悪夢が始まった。この2分後には中央を崩され同点、さらにその3分後にはコーナーキックから逆転を許す。このわずか5分間で、積み立てた得点は瓦解した。夜明けは遠く、ここに予言は復活を果たす。駒沢は勝機を失ったのだ。71分に湯澤・三宅を下げ板倉・小牧を投入し逆転を図るも、その直後にオウンゴールからさらに失点。DFはすでに秩序を失っていた。試合はそのまま中大のなすがままに進み、2-5の大敗で幕を閉じた。(渡邊 悠太)

9月17日 11:30 西が丘サッカー場	
駒大 2 (1-0) 5 中央大 (10位) (1-5) (9位)	
得点者 (アシスト)	
[駒] 11分湯澤 [駒] 48分碓井(湯澤)	[中] 59分澤田(田仲) [中] 61分安(高瀬) [中] 64分大岩(林) [中] 88分林
<b>KOMAZAWA</b>	<b>CHUOU</b>
GK②大石健太(2) DF⑨大木 暁(1) DF③三宅 徹(4) (71分板倉直樹(1)) DF④林堂 真(4) DF②砂川太志(4) MF⑥山崎紘吉(4) MF⑦碓井鉄平(2) MF⑤奥村 情(3) MF⑩濱田 宙(4) (56分⑩肝付将臣(4)) FW⑧湯澤 洋介(3) (71分⑨小牧成亘(1)) FW⑫山本大貴(2)	GK①岡西宏祐(3) DF②田港周平(4) DF④大岩一貴(4) DF④高瀬優孝(2) DF②岡崎亮平(1) MF⑦渡部一平(4) MF⑧田仲智紀(3) MF⑩六平光成(3) (86分⑩今井智基(3)) MF⑬田辺圭介(2) (56分⑩澤田崇(2)) FW⑨林 容平(4) FW②皆川佑介(2) (56分②安 柄俊(3))
<b>S U B</b>	<b>S U B</b>
GK⑩檜山昇吾(2) DF⑩江川昇吾(4) MF③板倉直紀(1) MF⑦川岸裕輔(1) MANAGER 秋田浩一	GK④ジェミット・ダニエル(2) DF⑨細見 諒(2) MF⑨椎名正巳(4) MF②大矢雄太(4) MANAGER 木村哲昌
[シュート]7:11[GK]12:8 [CK] 4:2[直接FK]14:15 [間接FK]2:6 [主審]塚田 健太 [観衆]550人	
警告(C)/退場(S)	
[駒]碓井鉄平 (C) [駒]林堂 真 (C) [駒]肝付将臣 ©	{中}大岩一貴 (C) [中]皆川大輔 (C)
※データの左側が駒大	